



あなん カルチャー

■ 市制施行55周年記念企画 市民劇団ふるさと創作ミュージカル「新開桜」

現代に生きる子どもたちと四百数十年前の戦国の世を生きる老将との奇妙な交流のお話です。そして、今の世を生きる私たちに、遠い過去からのメッセージが詰まったミュージカルです。

日時 5月5日(祝) 11:00～、15:30～
6日(日) 11:00～、15:30～

場所 夢ホール(文化会館)
入場料 自由席 一般1,800円(当日2,000円)
高校生以下1,000円(当日1,200円)

チケット販売場所 文化会館、市民会館、情報文化センター、小松島ミリカホール、アピカ、フジグラン阿南店、小山助学館(徳島駅前本店)、平惣書店(阿南センター店)、羽ノ浦国道店、小松島バイパス店)

問い合わせは 文化会館 ☎21-0808 へ

■ ロレオコンサート

2013年度のオーディエンス賞受賞者など、3組による演奏会です。迫力のピアノソロ、一番大きな弦楽器・コントラバスが奏でる繊細さ、ソプラノとテノールの魅惑の二重唱をお楽しみください。

日時 6月8日(日) 14:00開演

場所 夢ホール(文化会館)

入場料 500円(小学生以上)

出演者

上原慎太郎(ピアノソロ)

ベートーヴェン

「ピアノソナタ月光」

ショパン

「英雄ポロネーズ」ほか

木村潤美(コントラバス)

美馬かおり(ピアノ)

ポッテジーニ「エレジー

とタランテラ」ほか

酒井美里(ソプラノ)

市岡雅明(テノール)

三村加奈(ピアノ)「ウエストサイドストーリー」

より「トゥナイト」ほか

問い合わせは 文化会館 ☎21-0808 へ



阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯浅良幸

阿南市の式内社(三)

和耶神社

阿南市内には延喜式内社(小社)が五社あった。和耶神社、室比売神社、建比売神社、賀志波比売神社、八杵神社である。五社のうち延長年間から継続しているのは八杵神社のみである。社名に「比売」の付いているのは祭神が女神(姫・媛)であるからだ。

さて、和耶神社については阿南市羽ノ浦町中庄説と海部郡美波町日和佐の八幡神社説の二つがあり、現在では確定出来ない。

以下、代表的な説を紹介(原文は文語体であったり表現が学術的過ぎ



るので筆者が分かりやすく書き改めた)しよう。

『徳島県史』では「羽ノ浦町宮倉の能路寺山西麓にある熊野権現を充てている。この社では、毎年立春の前一日に「ワヤワヤ神事」を行っている。これには村民こぞって参拝し、ワヤワヤと三回唱えて鬼払いをした。また、倭名抄に見える和射郷に注目し、和射(日和佐)辺りでないかとしている。和那佐には和奈佐富意曾神社がある。

つまり、県史は羽ノ浦説と日和佐説を紹介し地(郷)名から日和佐説をとっている。

倭名抄には那賀郡に山代、大野、島根、坂野、幡羅、和泉、和射、海部の八郷があったと記している。郷名についてはいずれ詳しく紹介したい。

『徳島県神社誌』では、明治四十二年、羽ノ浦町宮倉及び中庄にあった和耶神社と二十二社を共に八幡神社に合祀し、羽浦神社と改称した。和耶神社はもともと羽ノ浦町宮倉背戸田にあった」としている。

『阿波式内神社考』(長谷川定彦)では、和耶神社は宮倉村能野寺山の西麓にあり今、熊野大明神、一説には熊野権現と称している。三尺四面の小社である。

毎年正月七日の夕方、能路寺の坊さんと所の山伏が社前で読経し法螺を吹いた。この行事を待って家々で



能路寺

(続く)

は豆を打ち追儼をしたとある。追儼は鬼やらいといわれ、節分行事である。大豆を煎って「鬼は外、福は内」の豆まき行事である。

坊さんの読経が終わると、村の老若男女こぞって「ワヤワヤ」と三回繰り返して唱えた。そのため「ワヤワヤ神事」といわれた。ワヤは和耶神社にかけたものとしている。

『阿波志』にも「延喜式内社」である。宮倉村にある。今、熊(野)権現という、毎歳正月七日村人集まって鬼やらいをし神名を三回唱える」とある。

『阿府志』にも「宮倉村にあり、今熊野権現と称している。別当は能呂寺である。当社毎年節分の黄昏村人豆を煎って持参し修験(山伏)に渡す。神前でお参りがすむと、ワヤワヤと大声で三回唱えてわが家へ帰った」とある。

これらは宮倉説をとっている。

科学 センター



ホームページ <http://www.ananscience.jp/science/>

かんたん天体写真教室 「デジタルカメラで 火星と土星を撮ろう」

お持ちのデジタルカメラを使って、今が見ごろの火星とリングを持つ惑星、土星を撮影しましょう。

日時 5月30日(金) 午後7時30分～9時30分

対象 デジタルカメラをお持ちで基本操作ができる小学生以上の方

申込方法 電話、または科学センターホームページからお申し込みください。

定員 30人

参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円

子ども科学フェスティバル (予約不要・参加無料)

ゴールデンウィーク期間中に、子ども向けの科学実験や工作ができる特設のブースを開設します。

期間 5月3日(祝)～5日(祝)

お楽しみ科学講座
午前9時30分～午後4時

3日/コハクを磨こう、4日/スライムを作ろう、5日/化石を見つけよう

※3日と5日は当日、先着順で整理券を配布。

日替実験工作ブース 午前10時～、午後1時～の2回

おもしろ科学実験 午前11時～、午後2時20分～の2回

デジタルプラネタリウム 午前10時30分～、午後1時30分～、3時～の3回

火星観望会 午後7時30分～9時(悪天候時中止)

※くわしくはお問い合わせください。

おもしろ科学実験(無料)

日時 土・日曜日の午前11時～、午後2時20分～の2回(約30分間)

※テーマはお問い合わせください。

お問い合わせは 科学センター

5月の休館日
7日(水)、12日(月)、19日(月)、26日(月)